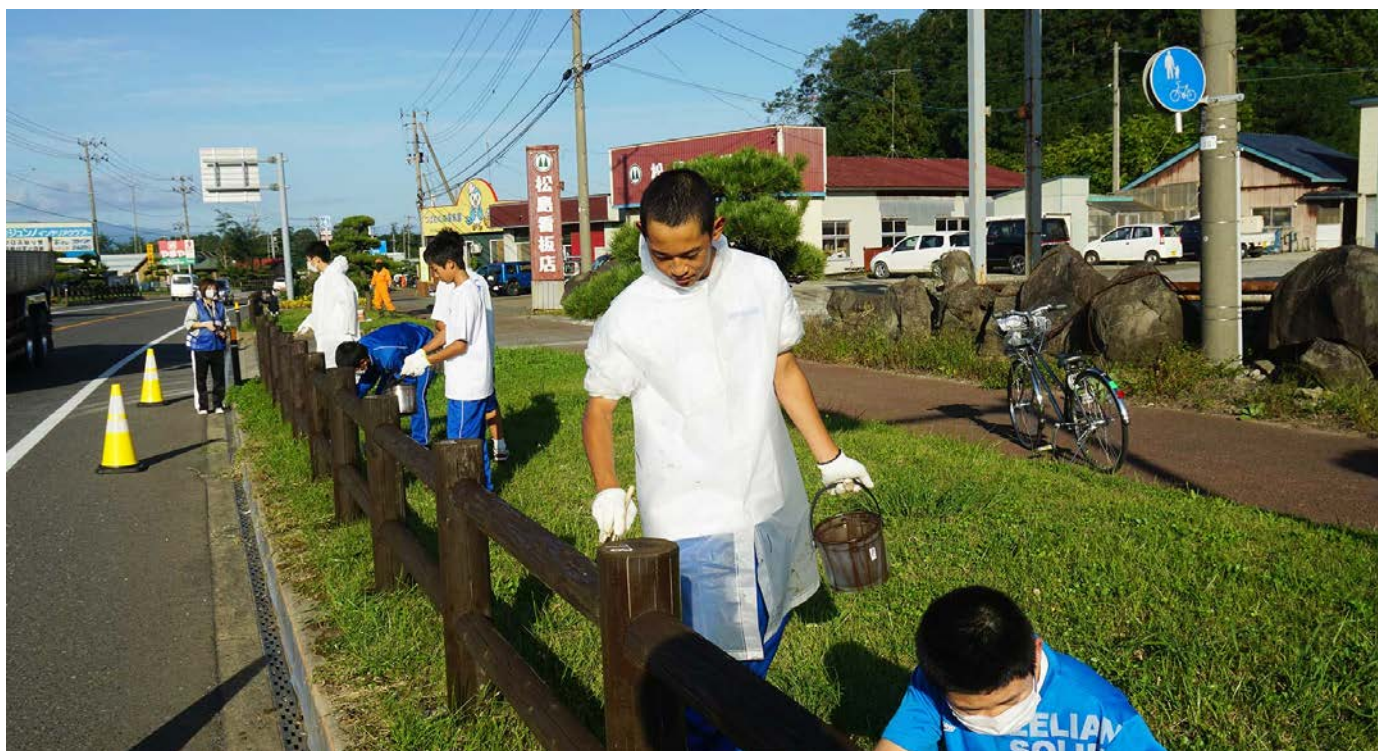


歴史と文化の薫る風景街道 のしろ白神の道 木製防護柵塗装イベントが開催されました！



2020年9月30日秋田県能代市南陽崎付近（国道7号）にて木製防護柵塗装イベントが行われました。およそ500mにもおよぶ木製防護柵を塗装するのは、能代市立能代南中学校56名の皆さんです。

このイベントは平成29年から年1回行われており、今年で4回目となりますが地域の中学生に参加頂くのは初めての取組です。



▲集合写真 能代市立能代南中学校1年生の皆さん



事前説明と記念撮影を終えてから、バケツと刷毛、熱中症対策のスポーツドリンクとタブレットを受け取り、各自担当する場所へ移動します。現場に到着すると、まずは雑巾で汚れを落とす作業から始まります。全体の作業時間は1.5時間と長丁場となりましたが、途中休憩をはさみながら、熱心に作業されていました。塗装後は綺麗な木製防護柵に生まれ変わりました。



今回参加していただいた中学生に感想を聞きました。

- 前から地域の方たちが参加して柵を塗装していることを聞きました。今回、初めて南中で参加させてもらい、貴重な体験だと思いました。この道はよく通っていて、能代は木のまちだなと実感しています。また、南中と地域の方と交流ができてとてもいい体験となりました。
- 地域のために貢献出来てよかったです。作業は大変だったけれど、しっかり塗ることができました。

能代市立能代南中学校の皆さんお疲れ様でした！

東北の風景街道 パートナーシップ紹介

のしろ白神ネットワーク 渡辺 千明さん

に風景街道の取組についてお伺いしました。



のしろ白神ネットワーク

事務局 渡辺 千明 さん

(秋田県立大学 木材高度加工研究所 准教授)

Q 今回のイベントについて教えてください。

のしろ白神ネットワークは、「のしろ白神の道」を「歴史と文化の薫る風景街道」に育てていくことを目的に立ち上げられました。市民により身近に「木のまち」を感じてもらえるような「木の香る道」づくりなどの取組みを進めています。

今回の木製防護柵塗装イベントでは、「木の香る道」づくりの一環で、美しい道路景観の維持、木製防護柵の耐久性維持などを目的としています。昨年度までボランティアを公募して実施していましたが、今回は初めて中学生にもご参加いただきました。

これまで能代国道維持出張所の方々が周辺学校に参加のお声がけをしてくださり、ようやく実現することが出来ました。



▲黒松並木と木製防護柵

Q イベントの内容について、事務局で工夫されている事はありますか？

イベントに参加された方への記念品（右写真）は、必ず用意するようにしています。木製コースターは、秋田県で豊富な木材である杉の木を活用して作製しました。

今回は初めて中学生に参加して頂くので、イベントを実施する前にのしろ白神の道でのまちづくりについて出前講座を行い、理解を深めて頂きました。今日のイベントのために授業内で塗装の練習をしてきたと聞いて、とても嬉しかったです。のしろならではの教育の機会になったと思います。



▲今回の記念品

Q イベントの広報などはどのようにされていますか？

※HP：ホームページ

のしろ白神ネットワーク HP※、能代河川国道事務所 HP、能代市の広報、関係者の HP・Facebook など、ご協力頂けるところを中心に多方面に情報発信するよう心がけています。

Q ルートの認知度を向上させるための取組はありますか？

風景街道の活動開始時期に、のしろ白神ネットワークのロゴマーク（四季ごとに色合いが違う）や、HP デザイン、イベントに使用するベンチ等の木製機材など、長く使用するものを作成しました。

道の駅「ふたつ」には、風景街道のコーナーを設けています。のしろ白神の道に関する情報の展示方法についてもルールを決めています。



▲のしろ白神ネットワークロゴマーク（秋）



▲道の駅「ふたつ」風景街道展示コーナー

さらに今年度より、国道7号沿道にある道路情報板に「日本風景街道のしろ白神の道」と標示（日本語と英語）をしたり、日本風景街道ロゴマークとルート名が印字されたシールを貼ることによって、認知度向上を図る取組みが始まりました。



▲道路情報板等にルート名の標示（今年度より取組開始）



Q その他お知らせなどあれば教えてください！

令和2年3月30日にのしろ白神の道の登録ルートが延伸しました。これに合わせて、今後のしろ白神ネットワークのHPや、のしろ白神の道ビュースポットマップ等のリニューアルを検討しています。